

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 20 年 7 月 10 日 (2008.7.10)

【公開番号】特開 2006-345376 (P2006-345376A)
 【公開日】平成 18 年 12 月 21 日 (2006.12.21)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-050
 【出願番号】特願 2005-170880 (P2005-170880)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 7/173 (2006.01)

H 0 4 N 5/445 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 7/173 6 4 0 A

H 0 4 N 7/173 6 3 0

H 0 4 N 5/445 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 20 年 5 月 27 日 (2008.5.27)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

複数の番組の各々に関する番組関連情報を受信する受信ステップと、
受信された前記番組関連情報に含まれる文字列を予め定められた複数のカテゴリに分類
し、ユーザの嗜好情報と、カテゴリ毎に分類された文字列の情報とに基づいて、前記複数の
カテゴリの優先順位を決定する決定ステップと、
ユーザの操作に従って番組を選択する選択ステップと、
前記決定ステップで決定された優先順位が予め定められた順位よりも高いカテゴリを用
いて、前記複数の番組の中から前記選択された番組に関連する関連番組を検索する検索ス
テップと、
検索された前記関連番組に関する情報を表示する表示ステップとを備えることを特徴と
する表示方法。

【請求項 2】

前記決定ステップは、番組のジャンル毎に前記複数のカテゴリの優先順位を決定し、
前記検索ステップは、前記選択された番組のジャンルにおける優先順位が予め定められ
た順位よりも高いカテゴリを用いて、前記関連番組を検索することを特徴とする、請求項
1 に記載の表示方法。

【請求項 3】

前記複数のカテゴリは、人の名称のカテゴリ、物の名称のカテゴリ、場所の名称のカテ
ゴリ、イベントの名称のカテゴリのうちの少なくとも一つのカテゴリを含むことを特徴と
する、請求項 1 または請求項 2 に記載の表示方法。

【請求項 4】

複数の番組の各々に関する番組関連情報を受信する受信手段と、
受信された前記番組関連情報に含まれる文字列を予め定められた複数のカテゴリに分類
し、ユーザの嗜好情報と、カテゴリ毎に分類された文字列の情報とに基づいて、前記複数の
カテゴリの優先順位を決定する決定手段と、
ユーザの操作に従って番組を選択する選択手段と、

前記決定手段により決定された優先順位が予め定められた順位よりも高いカテゴリを用いて、前記複数の番組の中から前記選択された番組に関連する関連番組を検索する検索手段と、

検索された前記関連番組に関する情報を表示部に表示させる表示制御手段とを備えることを特徴とする表示制御装置。

【請求項 5】

前記決定手段は、番組のジャンル毎に前記複数のカテゴリの優先順位を決定し、

前記検索手段は、前記選択された番組のジャンルにおける優先順位が予め定められた順位よりも高いカテゴリを用いて、前記関連番組を検索することを特徴とする、請求項 4 に記載の表示制御装置。

【請求項 6】

前記複数のカテゴリは、人の名称のカテゴリ、物の名称のカテゴリ、場所の名称のカテゴリ、イベントの名称のカテゴリのうちの少なくとも一つのカテゴリを含むことを特徴とする、請求項 4 または請求項 5 に記載の表示制御装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】表示方法及び表示制御装置

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、表示方法及び表示制御装置に関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

本願発明に係る表示方法は、複数の番組の各々に関する番組関連情報を受信する受信ステップと、受信された前記番組関連情報に含まれる文字列を予め定められた複数のカテゴリに分類し、ユーザの嗜好情報と、カテゴリ毎に分類された文字列の情報とに基づいて、前記複数のカテゴリの優先順位を決定する決定ステップと、ユーザの操作に従って番組を選択する選択ステップと、前記決定ステップで決定された優先順位が予め定められた順位よりも高いカテゴリを用いて、前記複数の番組の中から前記選択された番組に関連する関連番組を検索する検索ステップと、検索された前記関連番組に関する情報を表示する表示ステップとを備える。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本願発明に係る表示制御装置は、複数の番組の各々に関する番組関連情報を受信する受信手段と、受信された前記番組関連情報に含まれる文字列を予め定められた複数のカテゴリに分類し、ユーザの嗜好情報と、カテゴリ毎に分類された文字列の情報とに基づいて、前記複数のカテゴリの優先順位を決定する決定手段と、ユーザの操作に従って番組を選択する選択手段と、前記決定手段により決定された優先順位が予め定められた順位よりも高いカテゴリを用いて、前記複数の番組の中から前記選択された番組に関連する関連番組を検索する検索手段と、検索された前記関連番組に関する情報を表示部に表示させる表示制御手段とを備える。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 4
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 1 4】

ARIB(電波産業界)で規定した「デジタル放送に使用する番組配列情報 (ARIB STD-B10)」では、MPEG-2 Systems (ITU-T H.222.0、ISO/IEC 13818-1)を拡張し、番組に関連付けられた情報の一部を、EIT (イベント情報テーブル) 内に格納して伝送する。EITは、セクション形式のデータ構造を持つ。セクション形式のデータは、可変長であり、所定の順序で、あらかじめ決められたデータ種 (識別子や時間情報、記述子情報) が格納される。このうち、EITの記述子領域には、番組に関連付けられた情報の詳細が格納される。具体的な記述子の例をあげる。

【手続補正 1 5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 0
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 1
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 2
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 8】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 3
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 9】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 4
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 0】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 5
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 6
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 2】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 7

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 2 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 8

【補正方法】 削除

【補正の内容】